

# 生活環境学部 住環境学科

—学位授与・教育課程編成・入学者受け入れの方針—

## 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 【学位授与の前提となる教育理念】

住環境学科では、学部全体で学生に習得させる能力に加え、住環境学に関する体系的なカリキュラムを通じて、日常的な生活から地球規模の問題に至るまでの多面的な観点から物事を考える能力と素養を身につけ、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果や、技術者が社会に対して負っている責任を理解して、多様な環境と人間生活に対して種々の科学、技術および情報を利用して、社会の要求を解決するための能力を身につけた人材を養成することを教育の理念としています。

### 【身につけるべき「資質・能力」】

- ・住環境学、建築学の専門的知識とそれらを問題解決に応用できる能力を身につけている。
- ・論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力を身につけている。
- ・与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につけている。
- ・チームで仕事をするための能力を身につけている。
- ・数学および自然科学に関する知識とそれらを応用できる能力を身につけている。

### 【学位授与の形式的要件】

上述の資質・能力を身につけ、所定の年限以上在学し、所要の単位以上を修得し、所属教員の指導のもとでとりまとめた卒業論文もしくは卒業設計を作成して、卒業論文及び卒業設計の発表会で発表し、審査に合格した学生に学士（生活環境学）の学位を授与します。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 【基本的なカリキュラム構造】

人間と人間をとりまく環境や、快適で健康的な生活環境を考察するための教養を身につける基礎的な科目を学修した後、住居や建築の成り立ちや、そこで営まれる人間の諸活動、住居や建築の構造や物理的環境、維持保全、計画と設計に関する知識と技能を学修する必修の専門科目を学び、その上で、それらの内容をより高度に学ぶ選択必修や選択科目を選んで学ぶことで専門性を高め、最後に生活および生活環境に関わる各自の問題意識にもとづいた卒業研究または卒業設計を通じて、総合的にそれらを身につけます。大学院に進学して更に研究を深めたいという意欲のある学生に対しては大学院開講科目の先取り履修を認める6年一貫教育プログラムも提供しています。

### 【教育の内容と方法】

生活、社会、環境について幅広く学ぶ講義系の科目に加え、各種情報を総合的に理解、分析、評価

し、具体的な住居、建築、環境を計画できる能力や、立体的な造形能力、空間構成能力を養う設計演習系の科目と、建築技術に必要な数学、物理などの自然科学に関する知識や応用能力、情報処理に関する知識や技術を身につける演習科目もあり、高度な専門性を身につけることができます。

#### 【学習成果の評価の仕方】

開講科目は、シラバスにその成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）とその割合を明示します。学修成果の評価は、科目の特性に応じて、公正かつ的確に実施します。卒業論文および卒業設計は、提出された論文又は作品により評価します。

## 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### 【教育理念】

住環境学科は、生活や生活環境の企画・設計に関わるデザインや技術開発の能力、実務を遂行する能力をもつ人材の育成を目指しています。住環境学は、急速な社会変化をふまえて、ヒューマンスケールで環境を捉え、生活者の視点にたって、豊かで質の高い住環境を実現することを目指す領域です。したがって、住まい・地域・都市の計画・デザイン、音・光・熱・空気などの環境・設備、建物を支える構造・工法、建物をつくりだし維持する生産・施工・材料・管理の各分野を体系的に学び、社会が求める問題解決能力、実践的な創造力を身につけることを目標にしています。

#### 【求める学生像】

住環境学科では、次のような資質および意欲をもつ学生を求めます。

- ・住まいと暮らしに興味があり、それらを理解する基礎学力（国語、地理歴史・公民、外国語）と建築学を学ぶための基本的な工学能力（数学、理科）がある人
- ・他者への思いやりと洞察力がある人
- ・生活者としての観点から、住まいと暮らしに新たな課題を発見し、それらを解決する方法を論理的思考力と感性的創造力に基づいて発見しようとする意欲がある人
- ・住まいづくり・地域づくりに興味があり、それらの分野において主体的・能動的な生活者および専門的な職業人として積極的に活動する意欲がある人
- ・住まいと暮らしに関して学んだ成果を、専門職・企業人・公務員・教員等として地域や社会に積極的に還元する意欲がある人

#### 【入学者選抜の基本方針】

##### 一般選抜（前期日程）

前期日程では、大学入学共通テストと個別学力検査によって、高等学校卒業水準の基礎的学力および住環境学を学ぶために必要な学力が身につけているかどうかを評価し、可否を判定します。大学入学共通テストは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語、情報の 6 教科 8 科目もしくは 7 教科 8 科目で、「理科 2 科目利用型」、「地歴・公民 2 科目利用型」の選択を可能にしています。個別学力検査は外国語と国語、数学、理科から 1 科目の計 2 科目です。大学入学共通テスト、個別学力検査とも理系、文系の双方に対応しています。

## 一般選抜（後期日程）

後期日程では、大学入学共通テスト（一般選抜前期日程と同じ科目）と、個別学力検査として面接を実施し、合否を判定します。面接では、高等学校における学習の達成度に留意しつつ、積極性や表現力等を評価します。

## 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト（一般選抜前期日程と同じ科目）と、面接により、合否を判定します。面接では、高等学校における学習の達成度に留意しつつ、住環境学を学ぶ姿勢と、学んだことを主体的な生活者や専門的職業者として地域や社会に還元する意欲を評価します。

## 総合型選抜 探究力入試「Q」

総合型選抜 探究力入試「Q」では、第1次選考（調査書、志望理由書）と第2次選考（データや資料の読み取り、ディスカッション）で合否を判定します。第1次選考では高等学校卒業水準の基礎的学力が身につけているかどうか、住環境学に対する興味関心を評価します。第2次選考では論理的思考力や感性的創造力、主体的な生活者および専門的職業人として積極的に活動する意欲などを評価します。

## 高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試

奈良女子大学附属中等教育学校を含む対象校※において、高大接続文理統合探究コースを受講し修得見込みの者を対象に、文理を統合した視点や、探究に必要な能力を身につけた人を選抜するために、探究活動の発表、探究活動に関する論文、調査書、志望理由書、高大接続文理統合探究コースの履修状況等によって、基礎的学力、論理的思考力、課題発見・解決能力等を総合的に評価します。

## 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、日本留学試験の成績（日本語、理科、数学）、TOEFL のスコアと、面接により、合否を判定します。面接では、住環境学に対する興味関心や、論理的思考力や洞察力、主体的な生活者および専門的職業人として積極的に活動する意欲などを評価します。

## 第3年次編入学入試

第3年次編入学入試では、筆記試験（英語、小論文）と、口述試験により、合否を判定します。英語では、英文を読んだ的確に内容を把握する力と日本語を適切な英語で表現する力をみます。小論文では、住環境学の勉学・研究に必要な基礎知識、理解力、科学的思考力、創造性、文章表現力などを評価します。口述試験では、住環境学における適性や明確な目的意識を持っているかなどを、志望理由書なども参考にし、総合的に評価します。

※対象校については本学ホームページ「学部入試（学生募集等）」に別掲